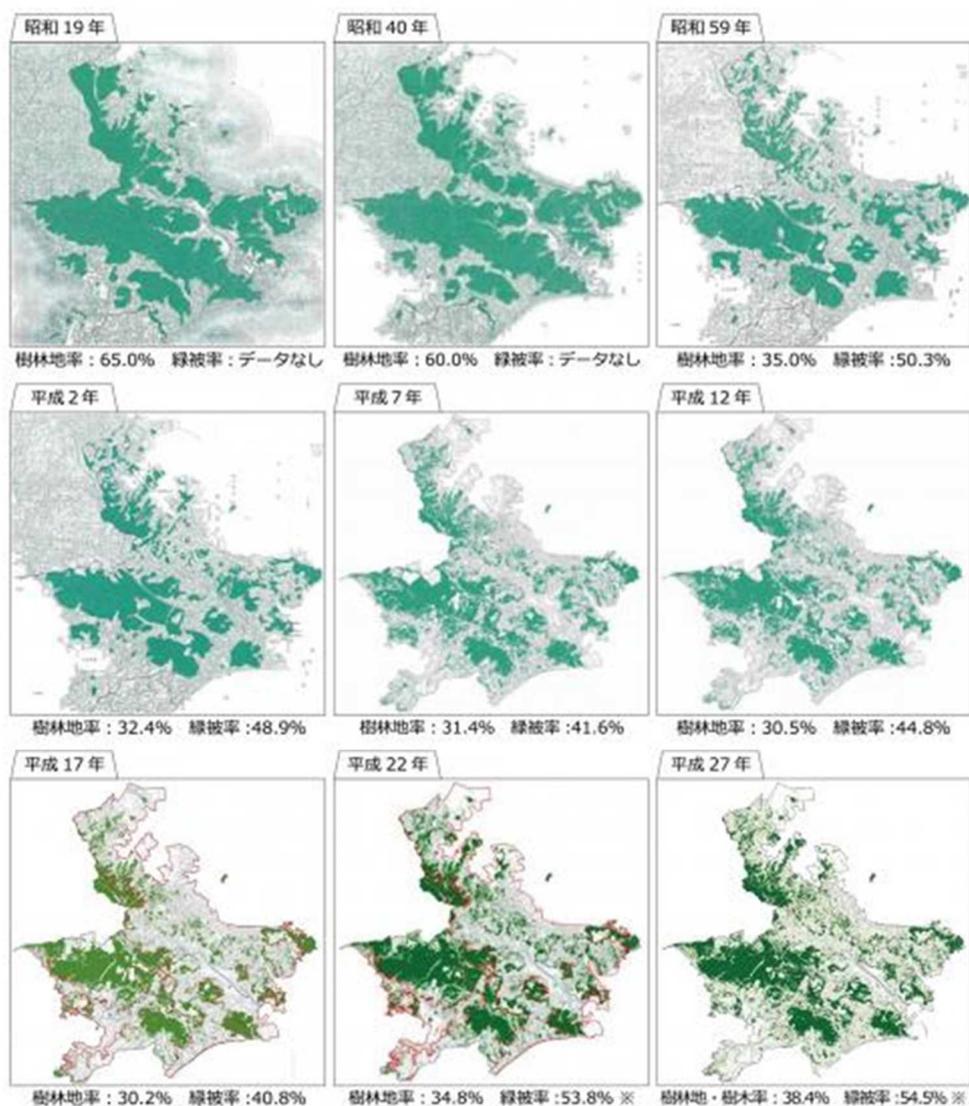


緑被の経年変化

樹林地の変遷

<傾向>

- 市内の樹林地は、高度経済成長期に大きく減少
- 昭和後期から平成初めにかけても緑被地は開発により減少



<調査方法の違い>

- 平成 17 年以前のデータは、土地利用を把握するための調査で、道路、市街地等の土地利用されている場所以外が対象でした。平成 22 年以降(※)は、新たな方法で緑被地すべてを把握したことにより、緑被率が大きくなっています。
- 平成 22 年度以降は、「どこに」「どのようなみどりが」あるのかを把握しています。土地利用されていない場所を含め市域全域を対象としており、街路樹 1 本、家庭の生垣、屋上緑化などを含んだ 1 平方メートル以上のみどりが対象です。

時期	平成 17 年以前	平成 22 年以降
目的	土地利用状況を把握すること (都市計画基礎調査の結果を活用)	<ul style="list-style-type: none">• 「どこ」に「どれだけ」の「みどり」があるかを把握し、市民のみなさんが身近に「みどり」を感じられるような、制度や施策を検討し、実施するための基礎調査• 定期的に調査を行い、その間に実施した施策の効果を検証するための調査
対象	道路、住宅地、市街地等の 「土地利用された地域」(は対象外)	左記も含め、市域全域が対象
精度	概ね 500 平方メートル以上	1 平方メートル以上 「街路樹 1 本」「家庭の生垣」「屋上緑化」 等も把握

お問い合わせ

[建設部自然環境共生課](#)

横須賀市小川町 11 番地 本館 2 号館 6 階 <郵便物：「〒238-8550 自然環境共生課」
で届きます>

電話番号：046-822-8331

ファクス：046-821-1523